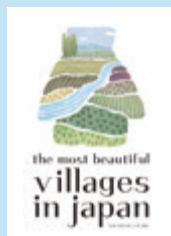


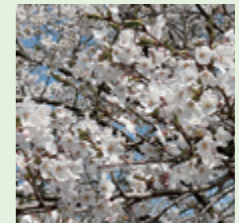
広報 
No.734
令和7年

いいたて 4

www.vill.iitate.fukushima.jp



飯館復興三千本の桜。開花期に合わせて「復興桜まつり」が開かれます。



桜並木から畑の一本桜まで、見所いっぱいの飯館村です。

飯館村に春が来た!

飯館村に春がやって来しました。里山の風景が日一日と春色に染まっていきます。花便りに誘われて、遠方から村内の花園を訪れる人も絶えません。春が深まるにつれて移り変わる花々のラインアップ、やがて山に萌え出す新芽の早緑も、やさしく村を包んでいきます。さあ今年も、飯館村の春景色を思う存分楽しんでください。

目次 CONTENTS

- 02 話題「飯館村に春が来た!」
- 04 特集「令和7年度当初予算と主な事業」
- 08 特集「飯館村土地改良区60年の歩み」
- 10 報告「3月議会定例会」
- 12 学びの広場「卒業式・卒園式」ほか
- 13 お知らせ「飯館村役場情報2025」
- 17 お知らせ「百歳賀寿」ほか
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせ
- 24 なりわいREPORT
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 お知らせ「生活応援商品券」ほか
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS／飯館村10大NEWS!

📷 今月の表紙



3月13日に行われた「いいたて希望の里学園」の卒業証書授与式。感謝と惜別の涙を交わした式を終えて校舎を後にする卒業生を、在校生らが見送りました。仲間との絆をかみしめながら、在校生にやさしく励ましの言葉をかける卒業生の姿が印象的でした。P12の記事をご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。



つづら折りの峠道を桜色に染める「長泥の桜」。



標高が高く山野草が豊富。大切に見守りましょう。



村内には水芭蕉の群生も点在します。



村民がまでいに手をかける庭や花畑も春の装いに。

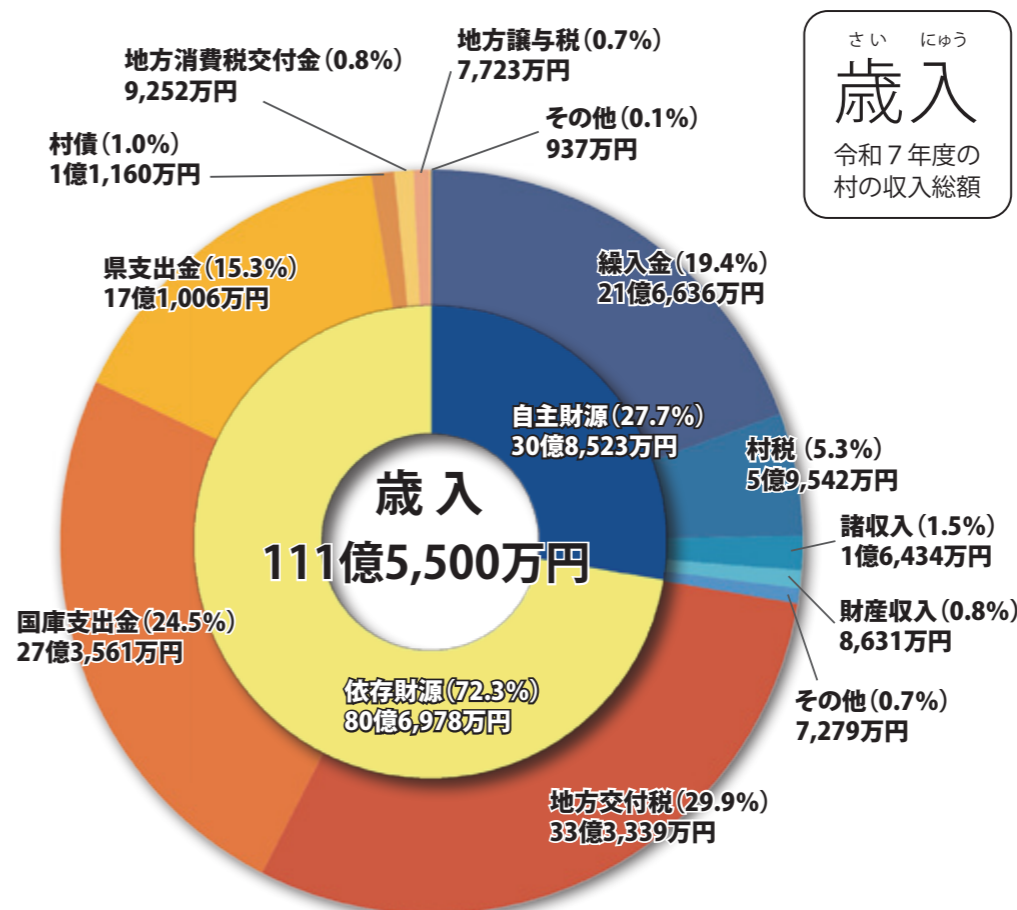


はやま湖の水辺に沿って続く桜並木「大倉の桜」。

〈ご注意ください〉私有地や農地に無断で立ち入ることはご遠慮ください。また、運転中はもとより写真撮影などの際も、交通事故には十分お気をつけください。

令和7年度 一般会計当初予算

令和7年度の当初予算案は、飯館村議会3月定例会の予算審査特別委員会(佐藤健太委員長)において審査と採決が行われ、3月14日の本会議にて可決・成立しました。令和7年度の一般会計当初予算と特別会計当初予算、公営企業会計当初予算について、概要をお伝えします。



令和7年度 一般会計

福祉や教育、消防など住民に対して広く行う各種事業についての包括的な会計です。

令和7年度一般会計当初予算は111億5500万円、対前年度比14.8%減、金額にして19億3800万円の減となりました。この予算は過去8番目に大きい規模で、7年連続で100億円を超える予算となっています。



歳入

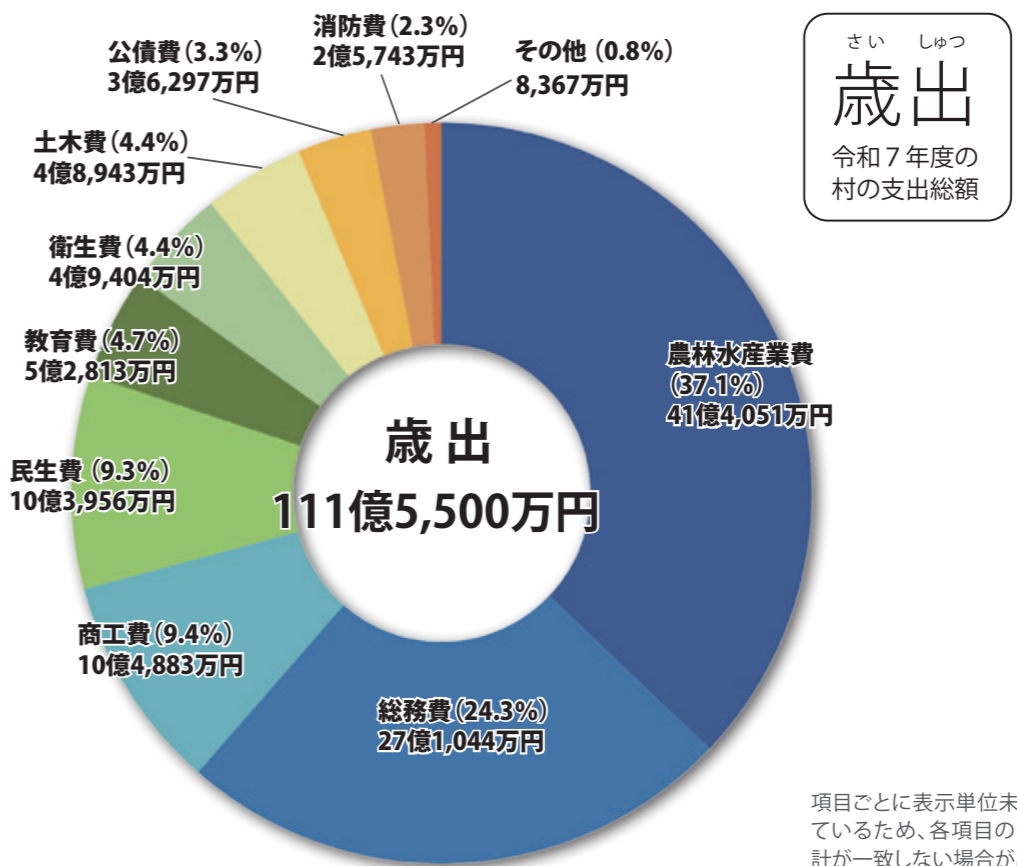
令和7年度の村の収入総額

村税などの「自主財源」は30億8523万円、歳入全体の27.7%です。一方、国や県からの支出金などからなる「依存財源」は80億6978万円、歳入全体の72.3%を占めています。

歳出

令和7年度の村の支出総額

令和7年度は、国が定める第2期復興創生期間の最終年度にあたるため、当初予算の編成にあたっては、復興創生期間以降も継続する事業、民間活力や新たな担い手に移行する事業、縮小・廃止していく事業など、将来予測を



踏まえた事業の組み立てに注視し、方向を示す予算の検討を行いました。本村をはじめとする被災地の復興にあたっては、依然として多くの課題が残されたままであることから、令和7年度は、翌年度以降の復興事業の継続、充分な予算の確保等について、国・県・関係機関への要請をさらに重ねていくべき重要な年度でもあります。予算の編成にあたっては、「①次世代・継承」「②なりわい」「③10年後を見据える」「④帰還困難区域」という4つの指標と、「①村民の今を支える取り組み」「②村の将来への布石となる取り組み」の2つの力点を設け、事業の組み立てを行っております。これらの指標と力点は、令和5年度に見直しを進めた飯館村第6次総合振興計画「後期計画」に掲げているもので、計画期間中一貫して取り組む方針です。

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です。

令和7年度 特別会計

国民健康保険特別会計	7億9,347万円
介護保険特別会計(事業勘定)	10億5,984万円
介護保険特別会計(サービス勘定)	690万円
後期高齢者医療特別会計	8,302万円

令和7年度 公営企業会計

簡易水道事業会計	2億2,930万円
農業集落排水事業会計	9,681万円

※公営企業会計予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計。

項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計と全体の合計が一致しない場合があります。

- ① 生きがいと生業の力強い再生と発展
- ② 健康で生き生きと楽しく
- ④ ふるさと資源のフル活用

- 暮らせるふるさとづくり
- ③ 情報通信技術 (ICT) による新しい村づくり
- ⑤ 生き生きとした学びの場を育む

① どこに暮らしていても参加して楽しい新しい豊かさを感じる村へ

一人ひとりの関わり合いで力を合わせ拡大させるまでいブランド

農林畜産業

農業基盤整備促進事業 (5億2,380万円) 暗渠排水、用排水路の整備等
 福島県営農再開支援事業 (5億5,114万円) 農地の地力回復、鳥獣被害対策等の支援
 被災地域農業復興総合支援事業 (6,671万円) 水稲作付面積の拡大に向けた取り組み
 ふくしま森林再生事業 (4億5,201万円) 森林施業計画の策定、施業実施
 いいたて魅力向上発信事業 (4,373万円) 都市圏での村産品のPR等
 未来へつなぐ農業支援事業 (3,744万円) 農業振興・経営支援等のための補助
 農地中間管理事業 (2億4,018万円) 農地の集積に向けた取り組み

商工業

商業施設整備事業 (1,785万円) 商業用店舗の運営
 産業団地整備事業 (9億61万円) 産業団地の整備
 ふるさとの担い手スタートアップ事業 (870万円) 新規起業支援のための補助
 事業再開帰還促進事業 (1,506万円) はやま湖まつり等イベントの開催
 もりの駅まごころ管理運営事業 (770万円) もりの駅まごころの管理運営

資源にひと手間加えて築く 観光以上移住未満の関係

観光

宿泊体験館まごころ管理運営事業 (9,856万円) 宿泊体験館まごころの管理運営
 農業研修館まごころ管理運営事業 (764万円) 農業研修館まごころの管理運営
 道の駅「まごころ」管理運営事業 (3,137万円) 道の駅「まごころ」の管理運営
 村民の森あいの沢整備事業 (5,170万円) 村民の森あいの沢の整備工事

モノや心を分かち合い、ふんわりやっこく迎える村

移住

交流・移住・定住等促進事業 (9,420万円) 移住相談窓口の運営、移住情報発信等
 地域おこし協力隊活動事業 (9,360万円) 地域おこし協力隊による地域振興活動等

② ゆったり流れる時間の中で「元気かい？」から始まる心地いい関係のある村へ

食べて笑って楽しい健康づくり

健康

総合健診事業 (3,657万円) 各種健診、人間ドックの実施
 予防接種事業 (4,053万円) 各種予防接種の実施
 訪問診療事業 (1,371万円) 医師による訪問診療等
 赤ちゃん誕生祝金事業 (200万円) 新生児誕生を祝う祝金の支給
 不妊治療費助成事業 (100万円) 不妊治療費用の助成

「出番」をつくるしかけづくり

福祉

村外介護サービス等送迎事業 (5,582万円) 要介護者等を村外の介護サービス事業所等へ送迎
 サポートセンター運営事業 (4,700万円) サポートセンターつながっぺの運営
 生活支援ワゴン運行事業 (974万円) 交通手段を持たない村居住者の生活を支援するワゴン車運行

未来や心にやさしい環境づくり

環境

いいたて美しい村づくり推進事業 (63万円) 条例に基づき魅力に満ちあふれた美しい村づくりを推進
 一般廃棄物処理事業 (5,001万円) 一般廃棄物の収集運搬・処理・処分等

③ いいたてに生きる精神文化を紡ぎ、自らに誇りを持つ村へ

竹のようにしなやかに、石のようにどっしりと、自らに誇りをもつ教育

学校教育

子育て応援支援金事業 (1,200万円) 小中学校、高校への進学費用を支援
 被災児童生徒等就学支援事業 (806万円) 児童生徒に対する就学費用の助成
 幼児就園支援事業 (202万円) 認定こども園園児に対する就園費用の助成
 特色ある学校づくり事業 (150万円) ふるさと学習や特色ある教育の推進

ふるさとをみつめ、ふるさとに学び、ふるさとと歩む教育

社会教育

いきいきわくわく学びの旅事業 (572万円) 義務教育学校5・6年生を対象にした体験学習
 自主文化事業 (64万円) 文化イベント等の開催
 パークゴルフ場管理運営事業 (1,563万円) パークゴルフ場の管理運営業務

いいたてを語り、いいたてを喰み、いいたてと過ごす文化

文化

いいたてYOITOKO発見! ツアー事業 (483万円) 村文化遺産等村の魅力を体験するツアーの開催
 文化財保護事業 (239万円) 村指定文化財等の保護

④ 足もとからの将来づくりを「支え合い」で進める村へ

自分たちの安全は自分たちで守る強靱な地域防災

防災

防犯対策事業 (2,183万円) 防犯カメラの設置、防犯指導隊の活動等
 消防団運営事業 (2,159万円) 消防団の運営・活動費
 地域防災センター管理運営事業 (719万円) 地域防災センターの管理運営業務

助け合いで築く 誰もが安心できる暮らし

建設

村道維持補修事業 (2億6,396万円) 舗装機能回復工事等
 草野地区移住定住促進住宅整備事業 (5億704万円) 移住世帯向けの住宅整備

連携して課題に立ち向かえる自立した地域

行財政

第7次総合振興計画策定事業 (1,801万円) 飯舘村第7次総合振興計画の策定
 みがきあげよう! ふるさと補助金 (1,708万円) 地域の魅力向上に取り組む行政区活動を支援
 まごころ心の復興事業 (1,350万円) 村民の絆を深める活動の支援
 コンビニ交付サービス事業 (168万円) 証明書のコンビニ交付サービス

その他

情報通信

情報通信基盤整備事業 (3,090万円) 地デジ再送信、光ファイバケーブルの維持・補修
 ホームページ管理運営事業 (154万円) 飯舘村公式ホームページの管理運用
 基幹系システム標準化事業 (1億651万円) 基幹系システムの標準化移行業務
 情報通信アプリ運用事業 (88万円) LINEを活用した村民向け情報の発信

〈共通重点項目〉

なりわい人口・住基人口の増加策

※ P 6・P 7 の金額は表示単位未満を切り捨て。

農業振興に力を
注いだ歴史に幕

飯舘村土地改良区

農地と農業施設の整備を推進し地域の農業振興に貢献してきた
「飯舘村土地改良区」が60年にわたる歴史に幕を下ろしました。

60年の歴史に思いを馳せてー 飯舘村土地改良区解散式典



飯舘村土地改良区理事長として式辞を述べる杉岡村長。さまざまな困難に立ち向かい農業振興に力を尽くした人々の足跡に触れ心からの敬意と感謝を伝えました。

3月22日、交流センター「ふれ愛館」で「飯舘村土地改良区」の解散式典が挙行されました。

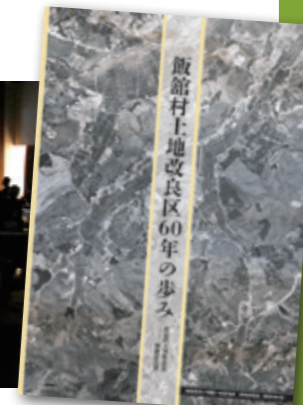
「飯舘村土地改良区」は、前身の旧大館村「深谷土地改良区」を改編して昭和42年に設立され、村内の農地や農業施設の近代化に着手しました。以来、平成11年までに13の地区で圃場整備を実施し、村の農業振興に大きく貢献しました。

解散を視野に入れた協議は数年にわたって続けられ、その結果、解散を目指すことを総代会で可決。令和6年、県の認可を受けて、「飯舘村土地改良区」は「清算法人飯舘村土地改良区」となりました。

解散式典には来賓や関係者など63人が出席。60年間の歩みを共に振り返りました。



①解散までの経過報告を行う清算人代表の菅野義人さん(比曾)。同改良区の足跡を振り返り「事業を推進した先人と組合員のたゆまぬ努力により、今また新たな一歩を踏み出すことができる」と感謝しました。②同改良区の歴史をスライドで振り返りました。また、解散に合わせて製作した記念誌「飯舘村土地改良区60年の歩み」が披露されました。③式の最後に「小宮の田植踊」を鑑賞。村の農業の歩みに思いを馳せました。



飯舘村土地改良区60年の歩み

■土地改良区とは、土地改良法に基づき地域の農業者によって組織され、県知事の認可を受けて設立される非営利団体です。圃場整備をはじめ農業用施設の新設・更新・維持管理などの土地改良事業を行います。また、管理受託や事業に係る受益者負担金などの徴収も担います。

■飯舘村土地改良区は、圃場整備と農業用施設の新設について昭和42年から平成11年にかけて事業を実施しました。事業面積は全体で約955haにのぼります(現在の面積は農地転用などにより約909.6ha)。

「飯舘村土地改良区」(以下、改良区)が設立された昭和42年当時は、小さく入り組んだ水田がほとんどで、機械化を進めるには、私財を出し合い、地域として農地と農業用水利施設の整備を行う必要がありました。事業は改良区を中心に、長期にわたって実施されました。入り組んだ水田は、地区の委員が1件1件評価を行い換地をして3反歩区画に整理しました。また、水路や農道も整備され、作業の機械化が進んだことで、農業の複合化や兼業化が実現。村民所得も向上しました。

「多面的機能支払交付金を活用した協定集落による水利施設等の維持管理が十分に機能していること」などを確認し、改良区が担ってきた機能を移譲・移管することが妥当であるとの結論に至り、総代会の決議で解散を決定しました。

〳〵全村避難が終了して8年が経過しました。村で営農を再開する人、新規就農に挑戦する人に加え、農業法人や集落営農組織による営農活動も広がっています。改良区の事業が行われていなければ、震災後の農地の集約も農業の再生も、現在の状況のように展開できなかったでしょう。

飯舘村の農地には、将来を見据えた先人の決意と努力、その意志を引き継ぎつないできた皆さんの力と思いが、今も宿っているのです。



④農業構造改善事業の工事の様子。(昭和40年代) ⑤⑥「結い」で農作業が行われていた時代。圃場整備前の水田。



⑦比曾地区、圃場整備前(昭和50年)の国土地理院空中写真。⑧圃場整備後(平成18年)の同エリア。©Google

令和7年3月議会定例会は、2月28日から3月14日までの日程で開かれました。一般質問は3月3日・4日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議案審議は14日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。



今議会で可決された議案など

紙面の都合上、一部省略しています

令和6年度 一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ10億7241万2千円減額し、総額133億1805万1千円とする。

令和7年度 一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ11億5500万円と定める。

令和7年度 国民健康保険特別会計予算

令和7年度 介護保険特別会計予算

令和7年度 後期高齢者医療特別会計予算

令和7年度 簡易水道事業会計予算

令和7年度 農業集落排水事業会計予算

飯館村農業施設等維持管理基金条例

飯館村商業施設設置条例

飯館村税条例の一部を改正する条例

飯館村水道条例の一部を改正する条例

佐須辺地に係る総合整備計画の策定について

比曾・岩部辺地に係る総合整備計画の策定について

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

飯館村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

監査委員の選任につき同意を求めることについて

固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

避難指示未解除区域の一部解除

村内で帰還困難区域として未解除区域が残る長泥地区のうち、曲田地区の一部について、2月24日に国、県と協議を行い、令和7年3月31日に避難指示を解除することで合意しました。なお、国、県との協議では、土地利用スキームによる避難指示解除に向けて必須となる三つの要件について、「①環境整備」はその完了を確認したこと、長泥行政区の方々と村議会への説明を通じて「②住民のご理解とご了承」をいただいたこと、飯館村環境回復検討委員会にて国の避難指示解除の基準である「③年間20ミリシールドを十分下回る」という検証結果をいただいたことを報告しています。

今後も引き続き国がしっかりと最後まで責任をもって取り組むと共に、復興に向けた支援を継続するよう強く要望しました。

物価高騰対応重点支援給付金

基準日の令和6年12月13日時点で、村に住民登録がある令和6年度住民税非課税世帯に対し、それぞれ3万6000円の給付金及び子ども1人当たり2万円の加算金について、2月下旬より給付を開始しました。

村民の帰還状況

2月1日現在の帰還者は627世帯、1178人で帰還率は約26.2%です。これに転入者275人と、いたってホームの入所者等を含め、村内の居住者は806世帯、1511人です。

避難を継続している方は、県外に

142人、県内は福島市に1875人、南相馬市に264人、伊達市に232人、川俣町に209人、相馬市に115人など、合わせて2839人です。

子育て応援支援金について

村の次世代を担う子ども達と、子育て世帯を力強く支援する飯館村独自の施策「子育て応援支援金」について、1月15日に令和7年度の小学校入学児童17名、中

学校入学生徒並びにいたって希望の里学園7年生進級29名、高等学校入学30名、合計76名に総額1060万円を支給しています。

あぶくまもちについて

昨年食用に収穫された約34tの「あぶくまもち」のうち約33tが、今年も株式会社セブンイレブン・ジャパンのご協力のもと、おこわおむすび2商品に加工され、村内ほか中通りを中心にセブンイレブン各店舗で販売されています。村としては来年度以降もさらに生産量の増加を目指し、村の特産品としての「あぶくまもち」生産を進めていきます。

農地中間管理事業について

令和6年度の実績は12月末現在で4行政区57haの集積となりました。これにより、全体の集積面積は12行政区569haとなりました。令和7年度は地域集積協力金等の制度が期限を迎えるので、可能な限り有利な条件で集積ができるよう、地権者、担い手、行政区と協議を進めていきます。

ふくしま森林再生事業

林業の活性化を図るため、間伐等の森林整備とその実施のための放射性物質対策を行う「ふくしま森林再生事業」について、今年度1月末現在、佐須地区及び深谷地区において約37haの森林整備事業を発注しています。

併せて広葉樹林の再生を目的

とした広葉樹林再生事業では、伊丹沢地区、宮内地区等において約28haの森林整備事業を発注しています。

建設関係

簡易水道について、空気弁や仕切弁周辺の道路の段差解消のため12か所の修繕を行いました。また、農業集落排水のマンホール周辺の段差においても、11か所の修繕を行いました。引き続きマンホール等の段差については修繕を行い、通行の安全確保に努めていきます。

河川の除草事業について、村で管理している普通河川17路線、延長18.3kmにおいて、河川の除草作業が完了しています。

教育関係

農業基盤整備促進事業については、村内15行政区において進めています。このうち農業基盤整備促進事業の測量設計業務における6件の委託については、年度内に完了する予定となっています。

村独自の教科である「いたて学」について、今年度も村民の皆様のご協力を得ながら、村の産業や文化を学び、学習発表会での太鼓の演奏、田植え踊りの発表、また後期課程においては学習内容をまとめて冊子にしました。また、2月19日に6年ぶりの開催となった「子ども議会」において、4年生が傍聴する中、5、6年生が学習した成果を発表し、議会で中継システムを通じて、村内外に向けて発信しました。

令和7年度版

お知らせ

飯舘村役場情報2025

令和7年度の重点事業の確実な実施に向け、より効率的かつ機能的な執行体制の確立を図るために、係の再編を行いました。P14に各課・各係の一覧を掲載します。業務内容や連絡先をご確認ください。また、4月1日付で人事異動がありました。新年度の体制についてもP15でお知らせします。

なお、P13からP16までを、広報から取り外して使うことができます。P16には村内施設の情報もあります。ぜひご活用ください。



3/18 までのりの里のこども園



卒業証書授与式・卒園式



いいたて希望の里学園 3/13



いいたて希望の里学園の卒業証書授与式では卒業生を代表し大島輝琉さんが答辞を述べました。大島さんは、学校を支える多くの人の存在に触れ、それら全てのサポートと先生・在校生・家族に感謝。また充実した学校生活を振り返り「仲間を思う幸せを知ることができました。みんなありがとう」とクラスメイトに伝えました。7人の卒業生は立派な態度で式を終え、彼らを慕う在校生に見送られ学び舎を後にしました。

までのりの里のこども園の卒園式では三品勝彦園長が式辞を述べ、絵本「おおきくなるっていいこと」(中川ひろたか・作/村上康成・絵/童心社)になぞらえて卒園児の成長を讃えました。7人の卒園児は、来賓祝辞の「おめでとう」にも「ありがとうございませう」と誇らしく応え、会場を感動の涙と微笑みでいっぱいにしていました。



3/12 前期課程「手」の絵本が完成

絵本作家のいせひでこ先生とノンフィクション作家の柳田邦男先生が、いいたて希望の里学園を来訪。両先生のワークショップで前期課程の児童が制作した絵本の完成披露式が行われました。式では児童がそれぞれ自身のページを朗読し、「手をつなごう」、1～3年生の絵本「手をつなごう」、4～6年生の絵本「いいた『手』」が披露されました。



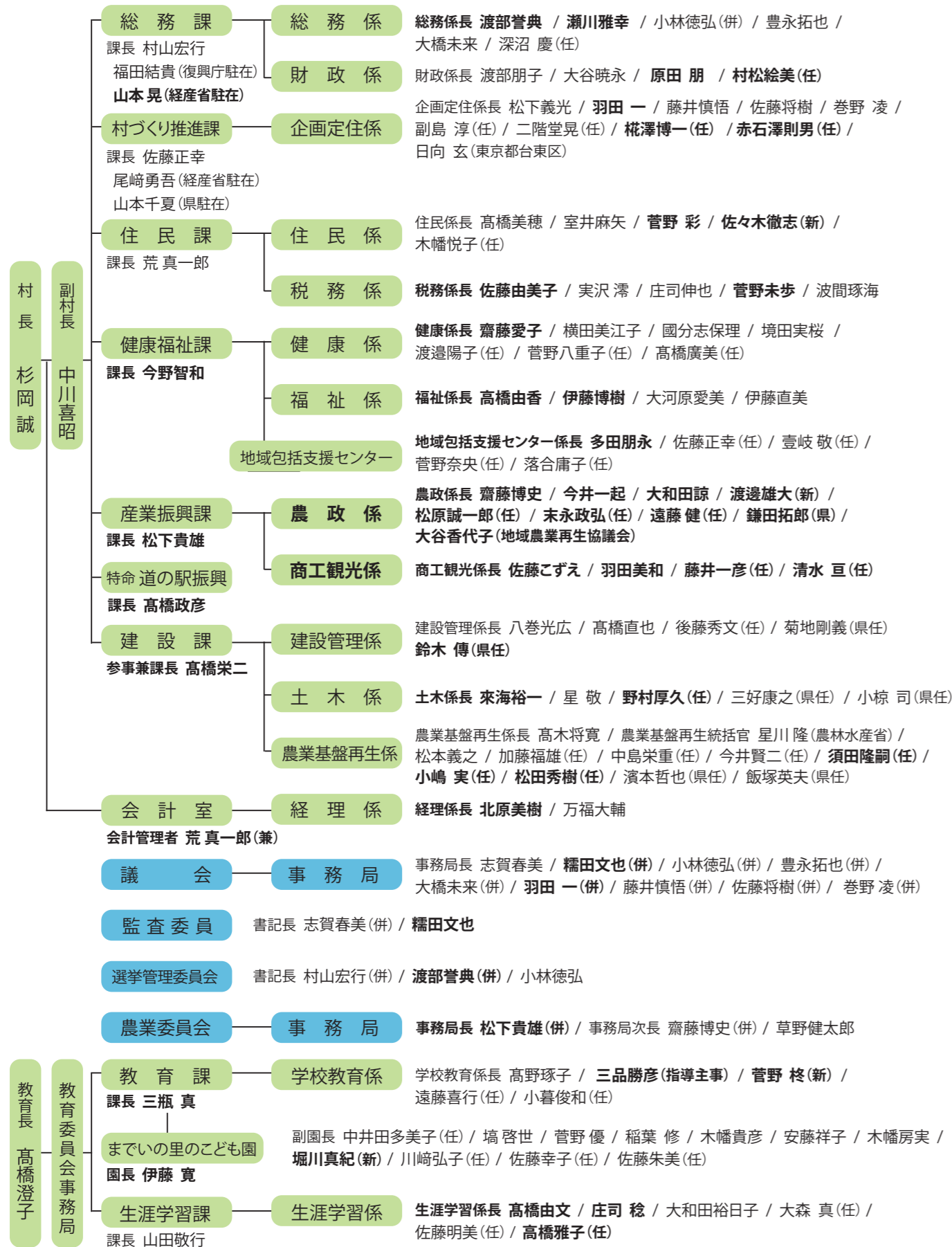
3/3 こども園で「ひなまつり会」

3月3日、までのりの里のこども園で「ひなまつり会」が行われました。会では全園児がわんぱくホールに集まり、ひなまつりの由来や意味をクイズ形式で教わったり、それぞれ製作したひな飾りを学級代表の子ども達が紹介したりしました。また、会の最後に子ども達全員で、「けがや病気をせず元気に過ごし、やさしい気持ちで過ごすこと」を約束しました。

令和7年度 村の組織と職員の配置

令和7年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。体制は次のとおりです。

※太字になっているのが今回の異動者です。
 ※紙面の都合上、主に正規職員・任期付職員・派遣職員を記載し職名を一部省略します。(新)新規採用職員 (任)任期付職員 (市町村名)派遣職員 (併)他部署との併任



退職者(令和7年3月31日付) 石井秀徳 / 林 博美 / 高橋萌育 / 渡辺秀一(任) / 大槻重宏(任) / 宮地祥子(任) / 杉浦由憲(任) / 塚原健太郎(任) / 川村初子(飯館村土地改良区) 復帰・復職(令和7年4月1日付) 東京都足立区復帰 伊藤 優 / 教員復職 蓮實修一

飯館村役場 各係連絡先

総務課	総務係 ☎0244-42-1611	消防・防災、選挙、法令、行政区長会、情報公開等
	財政係 ☎0244-42-1612	予算・決算、入札、地方交付税、寄附金・ふるさと納税の受け付け等
村づくり推進課	企画定住係 ☎0244-42-1613	総合計画、産業団地整備、企業誘致、広報・広聴、情報通信基盤整備、景観、移住・定住、空き家・空き地バンク、あいの沢整備計画等
住民課	住民係 ☎0244-42-1618	戸籍、住民票、各証明発行、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、ごみ、防犯、浄化槽、畜犬、マイナンバー等
	税務係 ☎0244-42-1615	地方税の賦課・収納、所得税・住民税の申告相談、各税証明発行等
産業振興課	農政係 ☎0244-42-1621 ☎0244-42-1625	農林畜産業振興、就農支援、農地中間管理事業、営農再開支援事業、長泥地区環境再生事業、獣害対策、中山間・多面的事業、農業農村ICT化等
	商工観光係 ☎0244-42-1620	企業支援、就労・雇用支援、商業施設の運営、道の駅までい館・もりの駅まごころ等の運営、事業再開帰還促進等のイベント、魅力向上発信事業、観光関係等
農業委員会事務局	(農政係内) ☎0244-42-1621	農業委員会運営、農地法許可申請関係、農業者年金
建設課	建設管理係 ☎0244-42-1624	村営住宅の入退去・維持管理、簡易水道・農業集落排水施設の維持管理等
	土木係 ☎0244-42-1623	村道、橋梁、河川整備・維持管理等
	農業基盤再生係 ☎0244-42-1610	農業基盤整備、農林土木施設の整備・維持管理等
教育課	学校教育係 ☎0244-42-1631	認定こども園、義務教育学校、学童保育、預かり保育、スクールバスの運営等
会計室	☎0244-42-1627	村行政に関する会計業務
議会事務局	☎0244-42-1628	村議会運営に関すること
生涯学習課 交流センター「ふれ愛館」	生涯学習係(交流センター) ☎0244-42-0072	生涯学習事業、青少年事業、男女共同参画、読書推進、文化財保護、伝統文化関係等
	(スポーツ公園管理棟) ☎0244-42-0152	社会体育、スポーツ公園、パークゴルフ場等
健康福祉課 いちばん館	健康係 ☎0244-42-1637	健康増進、成人健診、乳幼児健診、子育て相談、心の相談、予防接種等
	福祉係 ☎0244-42-1633	高齢者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、障がい者福祉、児童手当、子育て支援、児童福祉等
	地域包括支援センター ☎0244-42-1626	高齢者総合相談、高齢者権利擁護相談、介護予防ケアマネジメント等



齊藤マツヨさん(深谷)
大正14年3月10日生まれ

やさしい笑顔の齊藤マツヨさん。賀寿の褒状やメッセージをじっくりと読み、入所施設から贈られたケーキのろうそくを吹き消すなどお達者ぶりを発揮。式の後は親族とケーキを味わい晴れの日を和やかに過ごしました。マツヨさんは震災前まで野菜づくりに励んでいて、避難先でも庭の手入れをしていました。ひ孫が7人いるそうです。

百歳賀寿

村は県や関係団体と共に「百歳賀寿贈呈式」を催し、村民のご長寿の節目をお祝いしています。今回は3月に100歳を迎えた大正14年生まれのお二人を紹介いたします。



齊藤光一さん(八木沢・芦原)
大正14年3月5日生まれ

贈呈式で姿勢よく褒状や記念品を授与された齊藤光一さん。震災前まで山仕事をしていて、シイタケの栽培などにも取り組んでいました。山歩きのおかげで当時から体力には自信があったそうです。自宅に窯をつくって炭焼きも行っていました。好き嫌いなくバランスのよい食事を心がけていたのもご長寿の秘訣かも知れません。

「百歳賀寿贈呈式」では、福島県、飯館村社会福祉協議会、飯館村老人クラブ連合会などと共に、村民の百歳賀寿をお祝いしています。さらに3月20日には、五百川(いおかわ)ミツ子さん(蕨平)がめでたく100歳となりました。飯館村で100歳を迎えられた方は、五百川さんが50人目となります。

大規模山林火災の被災地へ思いを届けよう

岩手県大船渡市で2月26日に発生した大規模な山林火災では、3月9日に火災の鎮圧が宣言されましたが、その後も完全な鎮火に向けて残り火や熱源を取り除く消火活動が継続されています(3月19日現在)。この山林火災で同市は総面積の約9%にあたる約2,900haを焼失しました。また、被災した建物は200棟以上に及び、全壊した住宅も76棟にのぼっていて、被災した方の暮らしとなりわいの再生が急務となっています。

村は、大船渡市をはじめ全国各地の山林火災の被災地に応援の気持ちを届けようと、本庁、いちばん館、交流センター「ふれ愛館」、飯館村社会福祉協議会などの窓口で募金箱を設置しています。飯館村も全国から支援や応援をいただき復興の道を歩んできました。ぜひ多くの方のご協力をお願いします。

能登半島地震(令和6年1月1日発生)の被災地へ送る募金も同様の窓口で受け付けています。

問 総務課総務係 ☎0244-42-1611



主な施設・関連機関の連絡先

- 飯館村役場(代表)
☎0244-42-1611 / FAX0244-42-1601
※各課連絡先はP14
- 交流センター「ふれ愛館」
☎0244-42-0072 / FAX0244-42-0860
- 飯館村地域防災センター
☎0244-42-1611(総務課総務係)
- 飯館村子育て支援センター
☎0244-42-1633(健康福祉課福祉係)
- 飯館村地域活動支援センター「なのはな」
☎0244-42-1021(飯館村社会福祉協議会)
- 飯館村社会福祉協議会(陽だまりの家)
☎0244-42-1021 FAX0244-42-1040
- サポートセンターつながっぺ
☎0244-26-5207 FAX0244-26-5208
- いいたてクリニック
☎0244-68-2277 FAX0244-42-1155
- いいたてスポーツ公園
☎0244-42-0152 FAX0244-42-1300
- いいたてパークゴルフ場
☎0244-42-1571 FAX0244-42-1572
- いいたて移住サポートセンター「3ど」
☎0244-68-2850 ✉ iju@iitatelife.jp
- 宿泊体験館きこり／農業研修館きらり
☎0244-42-1012 FAX0244-42-1019
- いいたて村の道の駅までい館
☎0244-42-1080 FAX0244-42-1085
- ふかや風の子広場(ひみつ基地どきどき)
☎0244-26-7340

飯館村HP



Instagram



(いいたて移住サポートセンター「3ど」)



「農業研修館きらり」とあいの沢



「宿泊体験館きこり」の入浴施設



「いいたて村の道の駅までい館」「ふかや風の子広場」



「いいたてパークゴルフ場」



「いいたてスポーツ公園」



「いいたて球場」(いいたてスポーツ公園)

「食べて応援!in仙台」 飯館村の産品の魅力をPR

「飯館村の農畜産物の安全性やおいしさを直接消費地に伝えること」を目的に展開している「いいたて魅力向上発信事業」の一環で、3月15日・16日に『食べて応援!in仙台』に出店しました。この催しは農林水産省・東北農政局の主催で、会場の錦町公園に岩手・宮城・福島3県のおいしいものが大集合。村のブースでは、飯館産黒毛和牛のチゲスープやメンチカツ、もち米「あぶくまもち」の甘酒やぜんざい、イチゴやナツハゼの特製ベーグル、特産のどぶろくなど趣向を凝らした逸品を販売。村ならではの魅力を発信しました。



会場を訪れた皆さんと交流しながら、多彩なラインアップで飯館村の農畜産品の魅力を伝えました。

男女共同参画講演会 「やりたいことをやっていい」

2月28日、交流センター「ふれ愛館」で、宮谷理恵さんを講師に迎え男女共同参画講演会「やりたいことをやっていい」を開催しました。宮谷さんは出身地の愛媛県で認定看護師として救急・災害医療に携わっていて、平成23年に東日本大震災の被災地に派遣されました。そして平成27年には福島市に移住。働き方や生き方を模索する中で令和2年に起業し、現在に至ります。宮谷さんは自らの経験を元に、「自分の声を聞き、自分に合う方法を見つけること」の意義を語り「自分らしく人生を全うしてほしい」と参加者にエールを送りました。



宮谷さんはピラティスインストラクターとしても活躍中。講話後、座ってできる体操なども教えていただきました。

「ひみつ基地どきどき」 建築文化賞受賞記念イベント

第40回福島県建築文化賞「復興賞」の受賞を記念して、「ひみつ基地どきどき」で、3月23日に記念イベントが行われました。このイベントは10組限定で企画され、事前に申し込みをした家族連れが参加しました。前半は「風船工房MORITTO」によるバルーンショーが行われ、子ども達は、目の前で次々と作られていくバルーンアートに大興奮!後半は家族ごとに協力しながら色とりどりのバルーンアートで花束を作成し、参加者全員で「ひみつ基地どきどき」の受賞を祝いました。



「風船工房MORITTO」の皆さんと一緒にバルーンアートを楽しみながら施設の受賞を祝いました。

飯館電力株式会社から 寄附をいただきました

飯館電力株式会社(菅野宗夫代表取締役社長/佐須)から「陽はまた昇る基金」へ、19万6,000円の寄附をいただきました。本基金は、生活再建のための営農再開や、企業の事業再開などに充てられるものです。

菅野社長と荒利喜さん(飯樋町)、三瓶政美さん(大久保・外内)が3月7日に来庁し、杉岡村長に目録を贈呈。「村民の皆様の理解があるからこそ事業が進められる。今後も地域に貢献し、地域防災などの観点からも協力したい」と強い思いを語りました。



菅野社長(左から2人目)、荒さん(左端)、三瓶さん(右端)が来庁し杉岡村長に目録を手渡しました。

ただじゅんさんがこども園で 表現あそびのワークショップ

3月25日、ただじゅんさんの「あそびっこ公演」が、までのりの里のこども園で開催され、こども園の全園児と春休みの学童保育に通う子ども達が、多彩な演目を楽しみました。

たださんの公演には、相撲、太鼓、三味線、獅子舞など、和の文化が散りばめられています。子ども達はその雰囲気を楽しみながら、みんなで物語の場面を演じたり、お囃子に合わせて踊ったり、表現遊びにも全力で取り組みました。また、幅広い年齢の子ども達が、遊びを通して笑顔で交流していました。



ユーモアたっぷりの語り口で血回しを披露するただじゅんさんに、子ども達が声援を送って大喝采!

元気アップ・ポイント表彰式 8人が50ポイントを達成!

3月13日、『いいたて元気アップ・ポイント事業表彰式』が、交流センター「ふれ愛館」で行われました。

「いいたて元気アップ・ポイント」は、生涯学習課が実施している事業への参加や、図書の貸し出し利用のたびにもらえるポイントで、50ポイントを獲得した方を対象に、年に一度表彰を行っています。

今回50ポイントを達成したのは8人で、表彰式にはそのうち5人が出席しました。式では表彰状と合わせて「いいたて村の道の駅までい館」商品券(5,000円分)が記念品として贈られました。



表彰式の記念写真。笑顔が素敵です。運動に学びに前向きに取り組む心豊かな暮らし、見習いたいですね。

永井川カフェが大船渡に義援金

多彩な企画で月に一度村民同士が交流する「愉快的幸せカフェ永井川」(代表世話人・佐藤俊雄さん/草野)が、3月11日に「いちご狩り」を実施しました。当日は22人が参加し、相馬市の和田観光いちご園でイチゴを味わい、交流を楽しみました。また、会の中で岩手県大船渡市の山林火災に対して「義援金を募ろう」という声が上がリ、参加者が出し合った約1万6,000円を、同日、飯館村社会福祉協議会を通じて被災地に寄附しました。



菓子工房Cocittoがオープン!

飯館村地域おこし協力隊の高橋洋介さんが営む『菓子工房Cocitto』が、プレオープン期間を終えて、4月1日にグランドオープンを迎えました。村の農産品を使った焼き菓子やケーキが人気です。花見のお供に、お友達への土産に、あるいは自分へのご褒美に。ぜひ一度お立ち寄りください。

菓子工房Cocitto 飯館村草野字大師堂65

営 午前11時～午後6時 休 日曜日・月曜日

☎ 080-5416-3764

※営業時間がプレオープン時と異なりますのでご注意ください。



明治大学本所ゼミが活動報告

3月6日、交流センター「ふれ愛館」で、明治大学農学部「本所ゼミ」の『「人・農・食・いたて」未来へつなぐ事業』報告会が行われました。本所ゼミは、生産者・飲食店・食品メーカー・商業施設などとネットワークを築きながら、マルシェ出店・PR・メニュー開発・販路開拓などを精力的に実践しています。報告会では、ゼミ生のアイデアとやる気に満ちた活動の軌跡が紹介され、開発メニューの1つ「いたて雪っ娘」カボチャ入りお好み焼きの試食も行われました。



『福島もも娘 from Taiwan』が来庁し村内での活動拡大を報告

株式会社サクラ・シスターズ(上飯樋)がプロデュースするパフォーマンス・ユニット『福島もも娘from Taiwan』。歌とダンスで飯館村や福島県を盛り上げ、地域の魅力を台湾へも発信しています。今年度は村内での活動を拡大し、同社に隣接する古民家から、新たにSNSの配信なども行う予定。スタートを前に、3月10日、全6人のメンバーのうち5人が、同社の峯岸ちひろ社長と共に村役場を訪れ、飯館村の印象や今後の活動について、杉岡村長と懇談しました。



◀ 村民が製作する木工細工の牛を贈られ、どれにしようかと楽しみに選ぶメンバー。今後の詳しい情報は右のQRコードから。



深谷行政区 貴重な太鼓を修繕

深谷行政区が太鼓の張替えと修繕を行いました。元の太鼓は大正元年に、今では貴重な“センノキ”の巨木で作られたもので、綿津見神社の例大祭や、地元の神社の例祭・新年ご祈禱などで鳴らされ、100年以上大切に使われてきました。修繕を終えた太鼓は3月16日に行政区総会でお披露目され、住民の皆さんから感動と喜びの声が上がりました。



上) 修繕前 左) 修繕後
下) 総会でのお披露目



日赤飯館分区で新車両が活躍中

令和6年8月26日、濱田幸政さん(草野)からの寄附を受け、1台の災害救援車(日産セレナ)が日本赤十字社福島県支部飯館村分区(事務局:飯館村社会福祉協議会)に配備されました。この車両は、災害救護装備の充実を目的に配備されたもので、地域の災害対応や救援物資の配達、災害時の被災者救援対策の他、赤十字事業の充実と推進を図るためにも活用されます。現在は村民の送迎支援にも活躍しているそうです。



長泥曲田地区の一部で避難指示が解除されました

長泥曲田地区に整備された堆肥製造施設の用地と、燃料ペレット用の資源作物を栽培する周辺の農地、合わせて約6.2haについて、令和7年3月31日、避難指示が解除されました。住民が居住しない土地について、安全を確保した上で避難指示を解除する「土地活用スキーム(枠組み)」を活用した解除です。



イイタテバイオテック株式会社の資源活用型堆肥製造施設が完成し、3月26日に竣工式が行われました。避難指示の解除を受けて、いよいよ施設が本格稼働し、燃料ペレット用の資源作物の栽培もスタートします。同社の事業の詳細は広報いいたて3月号P23をご覧ください。

令和7年に入ってから主な経過

- 1月10日 飯館村環境回復検討委員会が検証結果を報告
- 2月2日 長泥地区住民説明会
- 2月24日 国・県・村による協議と合意
- 3月7日 政府が解除日を決定
- 3月31日 避難指示解除

3月の村の動きと主なできごと

- 5日・学校運営協議会(村役場)
 - ・齊藤光一さん 百歳賀寿(相馬市)
- 6日・飯館村第7次総合振興計画策定専門部会 第6回教育部会(村役場)
- 6日・明治大学最終報告会(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・齊藤マツヨさん 百歳賀寿(伊達市)
 - ・飯館村第7次総合振興計画策定専門部会 第6回健康部会(いちばん館)
- 13日・いいたて希望の里学園 卒業証書授与式(いいたて希望の里学園)
 - ・いいたて元気アップ・ポイント事業表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 15・16日・魅力向上発信事業「食へて応援しよう」in仙台「出店(宮城県仙台市)
- 17日・飯館村第7次総合振興計画策定専門部会 視察研修(山形県西川町)
- 18日・までのりの里のこども園 卒園式(までのりの里のこども園)
 - ・第1回飯館村介護運営協議会(いちばん館)
 - ・飯館村第7次総合振興計画策定委員会(村役場)
- 19日・YOOTOKO発見！ツアー検討委員会(交流センター「ふれ愛館」)
 - ・農業委員会定例総会(村役場)
- 20日・五百川ミツ子さん 百歳賀寿(福島市) ※贈呈式はご辞退
- 21日・飯館村第7次総合振興計画策定専門部会 第6回なりわい部会(村役場)
- 22日・飯館村土地改良区結了総代会及び解散式典(交流センター「ふれ愛館」)
- 23日・ひみつ基地どきどき福島県建築文化賞受賞記念イベント(ひみつ基地どきどき)
- 24日・飯館村第7次総合振興計画策定専門部会 第7回健康部会(いちばん館)
 - ・定例教育委員会(村役場)
 - ・第6回飯館村環境回復検討委員会(村役場)
- 25日・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 26日・イイタテバイオテック株式会社 資源活用型堆肥製造施設竣工式(長泥地区現地)
 - ・飯館村第7次総合振興計画策定専門部会 第7回教育部会(村役場)
 - ・飯館村商業施設竣工式(草野地区現地)
- 27日・飯館村商業施設竣工式(草野地区現地)
- 28日・教職員離任式(村役場)

令和7年春季全国火災予防運動結果



消防飯館分署からの報告です。

3月1日から7日までの1週間、全国で「全国春季火災予防運動」が実施されました。飯館分署では関係機関と合同で各種訓練・研修会を実施。火災時や災害時の対応の重要性を再確認することができ、災害に強い村づくりのためのよい一歩となりました。



- ① **高齢者世帯防火訪問** 防火訪問には、飯館村社会福祉協議会、飯館村女性消防隊、東北電力ネットワーク(株)福島電力センター、飯館分署が参加し、住宅用火災警報器の設置状況や電化製品が正しく使われているかどうかを確認しました。また災害への備えとして、女性消防隊から防災用品の入った「非常用持出袋」が贈呈されました。
- ② **防火パレード** 交流センター「ふれ愛館」の駐車場で防火パレードが実施されました。飯館村消防団、飯館村女性消防隊が参加し、村内の広報で火の用心を呼びかけました。
- ③ **防災研修会** 3月6日、特別養護老人ホーム「いいたてホーム」で防災研修会が実施されました。いいたてホーム職員27人、入居者45人が参加し、職員に対して消防用設備の使い方、AED(自動体外式除細動器)の使い方、傷病者搬送訓練、避難訓練を行いました。各職員の役割に応じた迅速で連携の取れた行動を身に付けることができました。

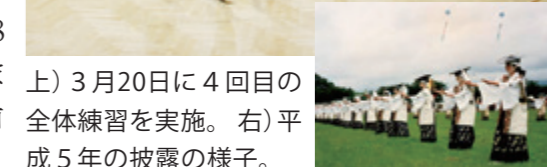
飯館村女性消防隊 普通救命講習会

飯館村女性消防隊(今野スイ子隊長/蕨平)では、地域の救命率向上を図ることを目的とし、飯館分署職員を講師に招き、普通救命講習会を、2月25日に交流センター「ふれ愛館」にて開催しました。本講習会は隊員の他に村民も対象として実施し、参加者が心肺蘇生法やAEDの使い方等を学びました。



相馬流山踊り『相馬野馬追』式典での披露に向けて

5月24日から開催される『令和7年度相馬野馬追』の式典で披露する『相馬流山踊り』の練習を行っています。この披露は、旧相馬中村藩に属していた各地域(郷)が持ち回りで行っていて、今年は飯館村(旧山中郷)の出番です。公募で集まった21人の踊り手が2月から交流センター「ふれ愛館」で練習を重ねており、4月20日と5月18日には南相馬市原町区との合同練習も予定されています。『令和7年度相馬野馬追』の式典は、5月25日午前9時30分から雲雀ヶ原祭事場で行われます。



上) 3月20日に4回目の全体練習を実施。右) 平成5年の披露の様子。

までいな家 エコハウスの数奇な活躍

歴史の散歩道

飯館村役場の西側に建つ「エコハウス」までいな家」をご存知でしょうか。現在はいいたて移住サポートセンター「3ど」として活用している建物です。

エコハウス（＝エコロジーハウス）とは、建材に身近な自然素材を取り入れ、気候や風土に合わせて自然エネルギー・再生可能エネルギーを活用する環境にやさしい建物のこと。「までいな家」は、公募選ばれた全国20の自治体が環境省の補助金で建設したエコハウスの一つです。

「までいな家」は、までいな暮らしと快適性・デザイン性を両立させているのが特徴です。母屋は「親の家」と「子の家」が渡り廊下でつながるいわゆる2世帯住宅で、広々とした庭や作業場も併設しています。平成22年に完成し、希望者が体験宿泊

やイベントでエコハウスの魅力に触れ、集会やサークル活動、結婚式の会場にも利用されていました。

しかし完成からわずか1年後、平成23年3月に東日本大震災が発災。「までいな家」は沿岸部からの避難者を受け入れ避難所となり、間もなくその後約6年にも及ぶ全村避難となりました。

19行政区の避難指示が解除された平成29年春、村は福島大学と「までいな家」協力協定を締結。学生らが「までいな家」を拠点に「村民食堂」を立ち上げ、村民の自分史制作などにも取り組まれました。そして令和4年から移住サポートセンターとして、建物の魅力を十分に発揮し交流の拠点として活用されています。



現在は移住サポートセンターが置かれ、さまざまな事業・イベントにも活用されています。(令和6年)



完成時の写真。「親の家」(中央)・「子の家」(右)と作業場(左)が、楽しいデザインで囲まれています。

村民の方からのリクエスト本



川端誠 作
BL出版

植木鉢に種を植えると...さて、どうなるのでしょうか。インパクトのある絵がとても印象的。ちょっと不気味でユーモアあふれる楽しいお話です。

うえきばちです

「ねずみくんのチョコッキ」などを始めとするねずみくんシリーズ。生きていく上で大切なことは「おもいやり」を持つこと。優しい気持ちでそつと芽生えるお話です。

村民の方からのリクエスト本



なかえよしを 作
上野紀子 絵
ポプラ社

ねずみくんのきもち

4月23日は、こども読書の日です。お子さん、お孫さんとの遊びの中に絵本を取り入れてみましょう。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

おすすめ図書を紹介しします

4月23日は、こども読書の日です。お子さん、お孫さんとの遊びの中に絵本を取り入れてみましょう。

いいたて
なりわい
REPORT
vol.10

入居者の皆さんの穏やかで家庭的な「普通の暮らし」を大切に
特別養護老人ホーム「いいたてホーム」(社会福祉法人いいたて福祉会)



社会福祉法人「いいたて福祉会」は平成9年の設立以来、一貫して地域に根差した福祉サービスを提供しており、現在は、特別養護老人ホーム「いいたてホーム」と、居宅介護支援事業所「いいたて在宅介護支援センター」の2つの事業を運営しています。

特別養護老人ホーム「いいたてホーム」は、入居者の「普通の暮らし」と「穏やかな笑顔」を大切に、「一人ひとりに寄り添うサポートを、日々丁寧

一人ひとりの入居者に寄り添い、家族のような触れ合いを大切に介護にあたる職員の方々の皆さん。各ユニットの入り口は、住宅の玄関を模したデザインになっています。



に続けています。「いいたてホーム」は全室個室のユニット型を採用しているため、入居者は10人程度のグループに分かれて生活しています。また、ユニットごとに専属の職員が介護を担当することで、より細やかな介護やケアを実践しています。

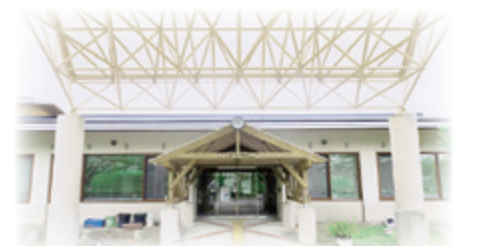
そして、ユニットの中心には共有スペースがあり、ユニットごとの活動や、コミュニケーションの場として活用されています。食事は季節を盛り込んでいるので、二人ひとりに合わせて食べやすく提供され、誕生日には厨房スタッフ手作りのケーキでお祝いします。入居者に寄り添い個別ケアを行う方針や体制は、職員の皆さんのやりがいや働きやすさにもつながっています。

「いいたて福祉会」では、就職の条件に資格を含めず、就職希望者のやる気や想いを重視しています。現在働いている皆さんにおいても、働き始めてから資格を取得した方が活躍しています。「いいたて福祉会」全体で、幅広い年代の45人(3月1日現在)が働いています。引続き入居希望者が多いことから、職員募集を継続しています。



入居者の笑顔が広がるアットホームなイベントを開催しています。

特別養護老人ホーム「いいたてホーム」
飯館村伊丹沢字伊丹沢571
☎0244-42-1700





すつかり春の穏やかな暖かさを感じる日が増えてきた花見月。もうすぐ飯館村も桜のシーズンが訪れます。今から開花が楽しみで、式の中、在校生からの送辞、7名の卒業生を代表しての答辞を聞き、ひとつの家族のように学び、育った1年生から9年生までの絆を感じ、思わず胸が熱くなりました。一人ひとりに向き合う教育を徹底して、大切に行われている飯館村の教育。その成果が卒業生の進路にも結実しております。少人数教育ながら、今年度の卒業生の中には橘高校や原町高校への進学を実現したお子様もおります。ご本人やご家族は勿論ですが、ご指導賜りました諸先生方の喜びもひとしおかと存じます。また18日には前日の雪が信じられないほどの気持ちのいい青空に恵まれて、「までの里のこども園」の卒園式が行われました。素直で明るい子ども達。今後も豊かな教育の中、いたってつ子の伸び伸びと健やかな成長を願ってやみません。

15日から16日は、仙台市・錦町公園にて東北農政局主催の「食べて応援しよう！in仙台2025」が開催され、飯館村も出店させていただきました。「肉のゆーとびあ」さんのメンチカツ、うま辛牛チゲスープ、「鮎川農園」さんのポンおこし、あぶくまもちの甘酒やお汁粉、「村カフェ753」さんのベーグル、どぶろく白狼、純米酒復興などが仙台へ。飯館村の特色豊かな産品を使ったグルメが来場の皆様にも大好評でした。今後も村産品、村グルメの魅力発信に努めてまいります。

■ ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
原田 航成くん	朋 さん 綾音さん	深谷

HAPPY BIRTHDAY!

ひとのうごき	令和7年3月1日現在
人口 今月(前月比)	2月1日~28日までの人口動態
●男 2,268人(-3)	転入 3人
●女 2,215人(-9)	転出 12人
計 4,483人(-12)	出生 3人
世帯数 1,793戸(-1)	死亡 6人
	(住民基本台帳人口)

(2月16日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 ナカ子 さん	84	関沢
池田 優二 さん	52	大久保・外内
山田 ヨシコ さん	94	関根・松塚
齋藤 益枝 さん	92	深谷
庄司 智子 さん	80	関沢
高橋 スサヨ さん	88	長泥
遠藤 ツルヨ さん	88	草野
細杉 テル子 さん	86	前田

ご冥福をお祈り申し上げます



ご利用ください! 飯館村生活応援商品券



物価高騰の影響を受けている家計への支援と、村商工業者への消費喚起を促し、地域経済の活性化を図ることを目的に『飯館村生活応援商品券』(1人あたり1冊5,000円分)を全戸配付しました。商品券が使える企業・店舗については、商品券と一緒に送付した取扱店舗一覧でご確認ください。使用期限は令和7年8月31日までとなります。ぜひ有効にご利用ください!

商品券と一緒に送付した「取扱店紹介パンフレット」。50を超える企業・店舗を紹介しています。
商品券1,000円×5枚で1冊。切り離して使用できます。



問 産業振興課商工観光係 ☎0244-42-1620
飯館村商工会 ☎0244-26-7957

5月号から新コーナーが始まります!

『広報いいたて』令和7年5月号から、村民の皆さんにご参加いただく新コーナーが始まります! 新コーナーでは月ごとにテーマを設けて皆さんが撮影した写真を募集し、写真に込められた思いやエピソードと共に掲載します。現在の村の素敵な景色から、昔を振り返るなつかしい写真まで、幅広く募集します!

今回は広報担当・巻野が「春」をテーマに写真を選んでみました!



震災以前、春に飯樋町地区のメインストリートで行われていた大雷神社式年遷宮大祭の写真です。沿道には地域の住民が集まり、地域ごとに特色のある装飾を施した車や神輿が通る様子を笑顔で見送っています。私が小学生の頃にも行われていたこともあり、家族でこの写真を見ながら、思い出話に「花」が咲きました。

5月号
〈テーマ〉
「こどもの日」「ゴールデンウィーク」
「新生活」「旅行」
4月15日(火) 締切

6月号
〈テーマ〉
「結婚」「出会い」「父の日」
「雨(梅雨)」
5月14日(水) 締切

- 写真様式 データ、現物を問いません
- 写真枚数 1掲載につき1~2枚程度
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます
- 選考 応募多数の場合は選考の上、掲載をさせていただきます
- 報償 1掲載につき1,500円

まずは電話でお問い合わせください。皆さんの素敵な写真をお待ちしています!

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

『飯館村商業施設』が完成し竣工式を行いました

ドラッグストアは5月29日にオープンします！

草野地区の旧Aコープ跡地に建設された『飯館村商業施設』の竣工式が3月27日に現地で行われました。

村内の買い物環境の向上を目指し令和6年4月から建設が進められてきたこの施設には、村と協定を結ぶ株式会社ハシドラッグが運営するドラッグストア「ハシドラッグ飯館店」が出店します。開店は5月29日の

予定で施設の完成に続き店舗の整備が進められます。

式では杉岡村長が「末長く村民に愛される店舗に」と期待し関係者に感謝を伝えました。株式会社ハシドラッグの橋浦希一代表取締役社長は「少しでも村の役に立てるようチャレンジしたい。村民の要望に応え、村の魅力の発信にも努めたい」と意欲を語りました。

飯館村商業施設

鉄骨平屋建て 延べ床面積約 1,300 ㎡

ハシドラッグ 飯館店

株式会社ハシドラッグが県北地方を中心に展開するドラッグストアの新店舗。地域密着型の店舗構成で医薬品・日用雑貨・食品などを取り扱います。



商業施設利用者となる株式会社ハシドラッグの橋浦代表取締役社長（中央）へ鍵の引き渡しが行われました。



式の終了後に内覧会も行われました。今後は完成した施設で店舗のオープンに向けた準備が進められます。

『飯館村 10大NEWS！ 2024』ぜひお楽しみください！

皆さんの投票で決定する飯館村 10大ニュースの発表動画を動画配信サイト YouTube の飯館村公式チャンネルで公開しています。動画では役場職員が司会を務め、令和6年（2024年）の飯館村のできごとを振り返ってお伝えしています。ぜひご覧ください。視聴は右のQRコードから、もしくは「飯館村 10大ニュース」で検索を！



〈編集後記〉

今年度も広報を担当することとなりました、改めてご挨拶申し上げます。今回新コーナーとして、皆さんの持っている写真を紹介するコーナーが始まります。私も家族と写真を探してみました。過去から現在に至るまで、いろんな景色や表情が溢れていて、見返すだけでもわくわくしました。このコーナーをきっかけに、まだ皆さんしか知らないかもしれない、飯館村の魅力や美しさが発信されるかと思うと、楽しみです。（巻野）

春ですね。出会いと別れの季節です。日常の一部が変わることで、当たり前のよう感じていたことのありがたみが身に染みます。飯館の美しい春景色に背中を押してもらいながら、感謝を忘れず新しい季節に踏み出していきたいです。（星）

「広報いたて」をご覧いただき誠にありがとうございます。また日頃より情報提供や広報取材にもご協力をいただき心より感謝申し上げます。広報いたてお知らせ版（3月20日号）でもお知らせしましたが、次号5月号から皆さんに写真をお寄せいただく新コーナーが始まります。今号P26にて詳細をご確認の上ぜひお気軽にご応募ください。令和7年度も大切な情報を皆さんにお届けしながら、より身近で楽しい紙面を目指していきます。新年度も「広報いたて」をどうぞよろしくお願いいたします。



問 村づくり推進課
☎0244-42-1613